

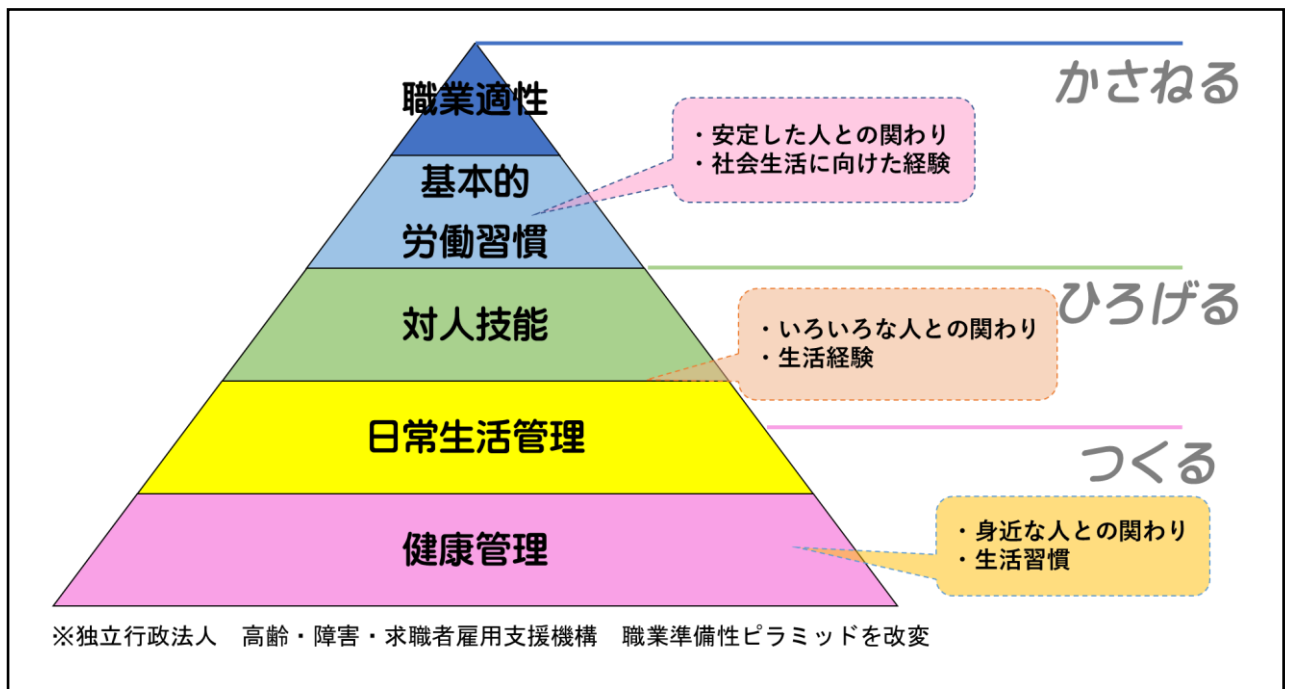
## Q.障害のある児童生徒が将来就職するためには、どのような指導が必要ですか？



## A.成長・発達に合わせて段階的に指導していくことが大切です！

就職に必要なのは、仕事の能力だけではありません。毎日休まずに出勤できるか、職場の方と良好な人間関係を築くことができるか…など様々な能力が必要です。そのため、低学年のころから、成長・発達に合わせて必要な能力を段階的に身に付けていかなければいけません。就職は、「高校生になったら本気で考えれば大丈夫でしょ?」では、難しい場合が多いです。

どのような能力が必要なのか理解し、日頃から意識して児童生徒に関わっていきましょう！



○次のページで各段階ごとに細かく見ていきましょう！

## つくる

つくる段階は、就職に向けての土台づくりの段階です。基本的な生活習慣を確立させたり、身近な人と安定した人間関係を築いたりすることが大切です。小学生段階でこうした力を身に付けることが望ましいです。

育てたい基本の力	就職に向けて
<input type="checkbox"/> 基本的な生活動作（食事、排せつ、更衣などの身辺自立）	<input type="checkbox"/> 自分の障害・症状の理解
<input type="checkbox"/> 身近な人との安定した関係	<input type="checkbox"/> 体調不良時の対処
…など	<input type="checkbox"/> 援助の要請
	<input type="checkbox"/> 服薬管理

## ひろげる

ひろげる段階では、つくる段階で身に付けた力を土台に生活経験や人間関係を広げていくことが望まれます。中学生段階で獲得を目指したい能力です。

育てたい基本の力	就職に向けて
<input type="checkbox"/> 規則正しい生活習慣	<input type="checkbox"/> 言葉づかい
<input type="checkbox"/> 挨拶	<input type="checkbox"/> 感情のコントロール
<input type="checkbox"/> 身だしなみ	<input type="checkbox"/> 共同作業
<input type="checkbox"/> 社会性（ルールを守る）	<input type="checkbox"/> 金銭管理
<input type="checkbox"/> 意思表示	…など
<input type="checkbox"/> 協調性	
…など	

## かさねる

かさねる段階は、各段階で身に付けた能力を基に就職に向けて実践的な経験を重ねていく段階です。作業学習や企業等での実習など実践的な場で働くために必要な能力を身に付けることが望まれます。

就職に向けて身に付けたい力		
<input type="checkbox"/> 働く意欲	<input type="checkbox"/> 健康管理（休まない）	<input type="checkbox"/> 1日6～8時間働ける体力
<input type="checkbox"/> 持続力	<input type="checkbox"/> 職場のルールの理解	<input type="checkbox"/> 指示理解
…など		
さらに…		
<input type="checkbox"/> 就労能力の自覚（作業適性）	<input type="checkbox"/> 作業速度	
<input type="checkbox"/> 作業能率の向上	<input type="checkbox"/> 作業の正確性	<input type="checkbox"/> 作業環境の変化への対応
…など		